

第3章 環境基本計画の進捗状況

ここでは、島田市環境基本計画に基づく平成23年度の取組状況の点検・評価結果を、計画の「基本目標（望ましい環境像）」の区分にしたがって整理しています。

取組の状況及び評価は、以下の方法による「環境の目標」及び「事業等の実施数」の点検結果を見比べることにより行っています。

なお、計画では個々の取組状況の指標として「取組の指標」を設けています。これについては巻末の資料編「環境基本計画の目標・指標一覧」に掲載しています。

◆環境の目標

「環境の目標」については、下記の方法で達成状況を把握することにより点検を行っています。

目標が数値で示されており、かつ、向上又は低減を目指す場合

下記の方法で「達成率」を算出しています。

- | |
|--|
| ・達成率＝（現況値－基準値）÷（目標値－基準値）×100
現況値が目標値を超えて改善されている場合は、数値が100%を超えます。
現況値が基準値よりも悪化している場合は、数値がマイナスになります。 |
|--|

目標が数値で示されており、かつ、維持を目指す場合

下記の方法で達成状況を分類しています。

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ・現況値が目標値を維持できている、または改善されている場合 | → 良好 |
| ・現況値が目標値よりも悪化している場合 | → 要改善 |

目標が数値で示されていない場合（「低下」など）

下記の方法で達成状況を分類しています。

- | | |
|-------------------------|-------|
| ・現況値が基準値よりも改善されている場合 | → 良好 |
| ・現況値が基準値と同じ、または悪化している場合 | → 要改善 |

毎年一定数値以上を目標とする場合（「毎年●回以上」など）

下記の方法で達成状況を分類しています。

- | | |
|-----------------|-------|
| ・現況値が目標値以上である場合 | → 良好 |
| ・現況値が目標値未満である場合 | → 要改善 |

◆事業等の実施数

環境基本計画に基づく事業等（市民グループによるものを含む）の実施数を、環境基本計画の「取組」の区分ごとに整理しています。

1 水とみどり

1-1 取組の状況及び評価

- ・この部門においては、平成23年度に合計で22の事業を実施しました。
- ・取組1-1-1「身近で自然とふれあえる場の整備」に係る事業では、46の公園愛護団体の会員により、52の公園の清掃、除草等を行いました。また、多くの市民団体において花壇やプランターの管理、花苗の提供、植樹などが行われました。
- ・取組1-1-2「身近な清流の再生」に係る事業では、344基の合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付し、生活排水による水質汚濁の防止に努めました。
- ・取組1-2-1「里山の保全」に係る事業では、市民貸出用の竹破砕機を延べ14団体に60日間貸し出し、0.5haの竹林を伐採しました。
- ・取組1-4-1「水資源の適正利用」に係る事業では、リークゾーン調査を240件、漏水発見調査を60箇所を実施しました。

◆環境の目標

項目	基準値 (H13年度)	H23年度	目標値 (H24年度)	項目別評価（目標に対する進捗状況）	
				達成率	内容
大井川の河状係数 ※この係数は、最大流量を最小流量で割った数値で、数値が小さいほど年間を通じて平均的に流量が保たれていることとなります。	712 (H10年度)	—	低下	—	流量が不安定なため、H15～H23年度は欠測
大井川の水質環境基準値（BOD）達成率	95.8%	100%	100%	100%	引き続き環境保全協定などにより、良好な環境を維持する。
市内中小河川の水質環境基準値（BOD）達成率	96.7%	100%	100%	100%	引き続き下水道・合併処理浄化槽の設置により、良好な環境を維持する。
緑地面積	57.3ha	75.5ha (111.9ha)	72.5ha	119.7%	基準値及び目標値が旧島田市分であるため、H23年度の実績は旧島田市分のみを計上した。括弧内は新島田市での面積
山林面積	15,534ha (H16年度)	15,153ha	6,077ha	—	目標値は策定時（H13年度）のもの。H20年度からは島田市全域の数値しかないため、比較のため基準値は旧島田市・金谷町・川根町のデータがあるH16年度とした。

◆事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成23年度の事業等実施数
1-1 身近で清流とみどりにふれあえる場の創出	1-1-1 身近で自然とふれあえる場の整備	4
	1-1-2 身近な清流の再生	6
	1-1-3 歴史的な水辺景観の再生	0
	1-1-4 大井川河川敷の利用	2
1-2 森林や里山の保全・復元	1-2-1 里山の保全	3
	1-2-2 森林の保全	4
1-3 自然とのふれあい体験の推進	1-3-1 自然とのふれあい体験を通じた関心の喚起	1
1-4 水資源の保全	1-4-1 水資源の適正利用	2
合 計		22

1-2 事業等の内容

取組の基本的方向 1-1 身近で清流とみどりにふれあえる場の創出

取組 1-1-1 身近で自然とふれあえる場の整備

取組項目		事業等の内容	担当
既存公園の実態を踏まえた整備の検討	継続	①ポケットパーク整備事業「ふれあいパーク事業」 ◆目的：子どもや高齢者、障害者等の地域でのふれあい交流の場を整備する。 ◆目標：先行取得公園用地の有効活用を図り、地域住民のふれあいの場を整備する。 ◆実績：御飯屋町8823-1（A=205㎡）を取得した。	市街地整備課
		②市民参加型の公園づくり ◆目的：市街地の中の公園に豊かな樹林や水辺等、自然とふれあえる環境を整備し、市民と行政が協働で管理するしくみづくりを目指す。 ◆目標：平成24年度末までに3箇所の公園について市民参加型の整備のあり方、計画、維持管理の提案を行う。 ◆実績：①しろやまゆいの会がしろやま公園で七夕祭り、竹細工体験イベント、ふれあい祭りを開催した。芝生に防除、施肥、散水、石積みを行って管理した。②水と里山を守る会が向谷水門横水神社下公園、金谷東町公園（SL公園）、金谷往還下公園、柳町公園の整備進展状況及び住民反応を調査した。	市民グループ
市民主体の自然と親しめる公園の整備・運営	継続	③自然と親しめる空間の確保 ◆目的：市民が常に自然と親しめる空間をつくる。 ◆目標：市民主体による自然と親しめる空間の整備・運営を図る。 ◆実績：①島田市花の会6支部が花壇の管理と苗作り、公共施設へのプランターの提供、新入学児童への花苗の提供を行った。②初倉コミカレねっとわーくが「みどりの園」で花壇作りを行った。③しろやまゆいの会が長間谷、空港アクセス道路沿い、原の平、吹木線沿いの下草刈り・竹林整備を行った。④水と里山を守る会が市内水路・支流の実態調査、公園予定地の現地調査を行い、水遊び場の創出について検討した。	市民グループ
		④公園の管理事業 ◆目的：地区住民の公園愛護精神を啓発し、社会奉仕活動の参加を促進する。 ◆目標：公園愛護会会員による公園の清掃、除草、軽微な修理等の管理を自発的に行う。 ◆実績：2団体の新規加入があり、公園愛護会46団体にて、52公園の清掃、除草等の作業を行った。	市街地整備課
多様な生物が生息できるビオトープの整備	継続	⑤公共施設のビオトープの整備 ◆目的：メダカやトンボ等の水辺の動植物を集め、自然とのふれあいができるビオトープを整備する。 ◆目標：公共施設の整備等の機会を捉え、検討整備していく。 ◆実績：検討の結果、新たな整備を実施しなかった。	市街地整備課

取組 1-1-2 身近な清流の再生

取組項目		事業等の内容	担当
自然に配慮した水辺づくり	継続	①多自然型工法等による河川整備 ◆目的：多自然型工法等を採用した治水対策などの調査・研究を行い、自然等に配慮した水辺づくりを進める。 ◆目標：整備を行う河川で、多自然型工法が可能であり地域住民の理解により協働できる箇所については積極的に進めていく。 ◆実績：国管理区間においては、大井川水系河川整備計画が平成23年10月に策定された。身成地区大井川環境整備事業は、ワークショップにより整備方針等について協議が進み、継続事業で工事を実施した。	建設課

	継続	<p>②自然に配慮した水辺づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市民の潤い空間の創出や多様な生物の生息空間の確保のため、自然に配慮した水辺づくりの推進を図る。 ◆目標：平成24年度末までに市民参加の自然に配慮した水辺づくりの調査や学習会の企画運営を6回行い、市民参加の水辺づくりの提案を3箇所行う。更に、行政と協働した水辺づくり事業を3箇所行う。 ◆実績：①六合コミュニティ委員会が東光寺でホタルを見る会を行った。②大津自治会が大津小学校付近の親水公園で子ども達に川の自然を知ってもらうため、ごみ拾いや堤防の草刈り、やまめのつかみ取りを行った。③交流センターささまと森づくりS川根がホタル観賞会を行った。④まちづくり川根の会が島田土木事務所及び市と三者によるリバーフレンドシップ活動で、大井川支流の草刈りとごみ拾いを行った。⑤水と里山を守る会がホタルの鑑賞会を3回行った。また、蛭川の実態調査を3回行い、近自然型工法を提案した。⑥初倉コミュニティが初倉の里楽校でホタルの観察会を行った。 	市民グループ
河川・水路の水量の確保	継続	<p>③大井川の流量の増加を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：大井川流域市町と連携し、大井川の流量の増加を目指す調査・研究を行う。 ◆目標：農業用水を環境用水として年間を通じて利用できるよう、関係機関と話し合い、市内の中小河川・水路の水量確保を目指す。 ◆実績：①大井川の清流を守る研究協議会が一般公募で大井川源流を学ぶ視察会を1回、中流域を学ぶ視察会を2回、大井川用水を学ぶ視察会（下流部）を1回、大井川を知る出前講座を小学校7校で実施した。②水と里山を守る会が大井川中流域や市内河川の流量の変化について学習会を開催した。 	市民グループ
生活排水の適正処理の推進	継続	<p>④公共下水道事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：下水道事業は、人間の生活・生産活動に伴って生ずる汚水を処理し、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に資する。 ◆目標：事業認可区域210haの内、未整備区域26.5haの汚水管渠布設整備を行う。 ◆実績：4.45haの汚水管渠を布設した。 <p>⑤合併処理浄化槽設置補助事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市内を流れる中小河川の水質が向上し、良好な生活環境が確保されるとともに、川の恵みを実感できるまちづくりの実現を図る。 ◆目標：建築基準法、建築基準法施行令及びし尿浄化槽の構造に関する告示により、平成12年12月1日以降は単独浄化槽の設置を禁止している。このため、単独浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えを一層推進する。（付け替えをする場合は、補助額を増額している。） ◆実績：補助交付件数344基（うち単独処理浄化槽からの付け替え17基）を行った。 	下水道課

		<p>⑥市内水路の水質向上</p> <p>◆目的：生活排水の適正処理を進めることにより市内水路の水質の向上を図り、身近に清流を取り戻すことを目指す。</p> <p>◆目標：平成24年度末までに市民参加の自然に配慮した水辺づくりの調査や学習会の企画運営を6回行い、市民参加の水辺づくりの提案を3箇所行う。さらに、行政と協働した水辺づくり事業を3箇所行う。</p> <p>◆実績：①生活クラブ生協静岡志太支部が水を汚しにくい石鹼の良さや利用方法をアドバイザーによる学習会等で伝え、石鹼の利用促進を図った。②環境市民くらぶが廃油石鹼を作り、石鹼の利用を呼び掛けた。③やまゆり、やまめ平が水を汚しにくい石鹼を使用し、そば打ち体験等の来訪者にも石鹼利用を啓発した。④Team Love H₂O & Forest（川根地区）が野守の池にEM活性液、EM泥団子を投入して水質浄化に努めた。川根小・中学校のプールにEM菌を投入し、飲食店・菓子製造所、一般家庭にEM活性液を配布し、下水の浄化に役立てた。また、納涼夜店市、野守の池イルミネーション時にEMコーナーを出展した。⑤しまだ環境ひろばが国土交通省所管「第8回身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、市内7河川の水質調査を実施した。⑥水と里山を守る会が野守の池の護岸工事の状況と水質の影響を調査した。⑦初倉コミュニティが初倉の里楽校で、しろやまゆいの会の協力のもと炭焼き体験を実施し、吹木川にカワニナと炭を撒き、水質向上に努めた。</p>	市民グループ
--	--	--	--------

取組 1-1-3 歴史的な水辺景観の再生

取組項目		事業等の内容	担当
残された歴史的な水辺景観の調査	継続	<p>①残された歴史的な水辺景観の調査</p> <p>◆目的：市内に残された江戸時代の宿場町の風情や、木都としての歴史を彷彿とさせるような水辺の景観について、水路改修計画等の機会を捉え調査を行い、歴史的な水辺景観への関心を高める。</p> <p>◆目標：調査結果において、特に島田の歴史に深くかかわる歴史的な水辺景観と判断されるものについて、保全または再生を水路改修に合わせ進める。</p> <p>◆実績：水路整備等の事業に対して、歴史的な水辺景観の対象となる工事箇所はなかった。</p>	市街地整備課

取組 1-1-4 大井川河川敷の利用

取組項目		事業等の内容	担当
大井川高水敷への水とみどりの取り込みの検討	継続	<p>①川根町身成河川環境整備事業（県事業）</p> <p>◆目的：川根町身成地先大井川左岸約1.3km区間の環境整備を行う。</p> <p>◆目標：大井川左岸堤防及び堤外地の環境整備についてワークショップを開催し、整備イメージを検討する。</p> <p>◆実績：前年度に引き続き地元の協力を得る中で2回のワークショップを開催した。また、大井川中流域浸水対策事業と合わせ、高水敷整備550mを実施した。</p>	建設課
		<p>②大井川高水敷への水とみどりの取り込み</p> <p>◆目的：大井川の自然を生かした河川敷の整備のあり方を市民参加により検討し、市民参加型の計画・維持管理を踏まえた整備の提案を行う。</p> <p>◆目標：平成24年度末までに大井川高水敷への水とみどりの取り込みや向谷水神社一体の親水ゾーン化についての検討会を4回行い、市民参加型の計画・維持管理の提案を行う。</p> <p>◆実績：①しまだ環境ひろばが「大井川用水をバスでたどってみよう」の市民環境塾で、大井川用水の視察を行った。②水と里山を守る会が大井川緑地（伊太地先）整備協議会後の市の親水公園化計画に沿って、3回現地調査を行った。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 1-2 森林や里山の保全・復元

取組 1-2-1 里山の保全

取組項目		事業等の内容	担当
里山の維持管理の推進	継続	①放置竹林対策 ◆目的：近年、管理が行き届かない竹林が拡大して、急速に周辺の農地や森林等を侵食し、環境に様々な悪影響を与え始めているため、拡大防止対策を実施していく。 ◆目標：市民と行政が一体となって、竹林拡大防止のための活動を継続する。 ◆実績：市民貸出用の竹破砕機を活用し、竹林伐採が実施された。延べ14団体に60日間貸し出し、0.5haの竹林が伐採された。	農林課
	継続	②住民・市民参加型の里山維持管理 ◆目的：市民や市民グループが手軽に里山管理作業に参加できるように活動フィールドを整備する。 ◆目標：平成24年度末までに竹林所有者を中心とした地元整備グループの結成を促進し、伐採の支援活動を7箇所で行う。また、耕作放棄地の再生支援を2箇所以上で行う。 ◆実績：①C. E. Sが竹のテングス病の伝染状況を調査し、伐採した竹の利用を実施した。②里山仕事・しょんた塾が諏訪原城址・金谷石畳坂等でヒノキの間伐・竹伐り、塩ノ田で草刈り・竹林間引き、牧の原公園かたくり自生地で草刈りを実施した。(15回、66人、3.5ha) また、初倉中学学校林の間伐活動を5回実施した。③森づくりS川根が森林の作業路の整備を実施した。(31回、124人、1,459m) ④御林守河村家を守る会が梅オーナー制度の収益で、文化財建造物とその周辺里山の保全を実施した。(600回、600人、1ha) ⑤しまだ環境ひろばが放置竹林4箇所、皆伐、間伐、下草刈り、若竹刈り、下草刈り、樹種転換、管理道整備を実施した。(46回、184人、3ha) ⑥環境市民クラブが元島田竹林整備を実施した。(5回、18人、3ha) ⑦里山どんぐりの会が森の力再生事業による里山整備を実施した。(13回、56人、0.7ha) ⑧水と里山を守る会が市の竹破砕機と農水省方式による荒廃竹林整備を5箇所で行った。(6回、12人、1.7ha)	市民グループ
「島田の里山30選」の実施	後期	③「里山30選」の選定及び啓発活動 ◆目的：市民参加型による維持管理活動により、多様な生物が生息する里山の創出・保全を目指す。 ◆目標：平成24年度までに「里山30選」に拡大し、パンフレット3,000部を印刷して市民や小中学生等への啓発活動を5回以上行う。 ◆実績：しまだ環境ひろばが里山30選視察・小学校総合学習・市民環境塾でパンフレットを活用した。	市民グループ

取組 1-2-2 森林の保全

取組項目		事業等の内容	担当
市民も参加した維持管理の推進	継続	①森林整備地域活動支援事業 ◆目的：森林の持つ多面的な機能の維持を目指し、山林所有者等が適正に森林を管理するために必要な「地域活動」を支援していく。 ◆目標：森林整備のため、施業団地を単位とした森林所有者等による森林の現況調査などの地域活動を支援し、計画的かつ一体的な森林整備を促進する。また、広く一般に森林整備の理解を深めてもらう。 ◆実績：国の補助制度により森林整備活動を支援し、適正な森林管理を進めることができた。	農林課

大井川流域全体の交流のしくみづくり	継続	<p>②大井川流域連携</p> <p>◆目的：大井川の健全な河川機能の維持を目的とした、流域の市民活動の交流・連携のしくみづくりを推進する。</p> <p>◆目標：平成24年度末までに大井川流域の諸団体と大井川の健全な河川機能の維持を目的とした交流会を10回行い、提言を取りまとめる。</p> <p>◆実績：①大井川流域ネットワーク他10団体が島田土木事務所、3市2町主催の大井川「川まつり」に参加した。②水と里山を守る会が流域の諸団体（高熊・福用森林組合等）と交流した。</p>	市民グループ
竹・間伐材等利用の促進	継続	<p>③間伐材を利用した製品開発</p> <p>◆目的：森林整備により発生した間伐材等を可能な限り再活用していく。</p> <p>◆目標：防護柵や治山谷止め工等に、間伐材の有効利用を図る。</p> <p>◆実績：静岡県木質バイオマス協議会の会議に出席し、木材資源の活用に係る情報を収集した。</p>	農林課
	継続	<p>④間伐材等の利用促進</p> <p>◆目的：竹・間伐材等を利用した製品の開発を行う。</p> <p>◆目標：河川源流部の森林保全のために、竹・間伐材等を利用した製品の開発を通して、人・物・金の流れを作るしくみづくりを目指す。</p> <p>◆実績：①森づくりS川根が交流センターささまの倉庫・車庫を間伐材で建設した。また、間伐材を利用した椅子2脚を市に寄贈した。②森づくりS川根と交流センターささまがホダ木のシイタケ採り体験を行った。③C.E.E.Sが間伐した竹で紙漉きと竹細工を行った。④大津自治会がホダ木・ヒノキの杭を販売した。⑤しろやまゆいの会が炭焼き体験イベントを行った。⑥水と里山を守る会が竹を利用した「門松」「ししおどし」をつくる会を開催した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 1-3 自然とのふれあい体験の推進

取組 1-3-1 自然とのふれあい体験を通じた関心の喚起

取組項目		事業等の内容	担当
自然への関心の喚起	継続	<p>①「島田自然マップ」づくり</p> <p>◆目的：地域の自然に関心を持ってもらうために市民・行政・教育関係者等との協働により自然マップ等を作成し、啓発に努める。</p> <p>◆目標：平成24年度までにマップ2,000部を印刷して、市民や小中学生への啓発に努める。</p> <p>◆実績：なし</p>	市民グループ
自然とのふれあい体験の充実	継続	<p>②自然教室の開催</p> <p>◆目的：身近な自然とのふれあい体験を通じて環境への関心を育む機会を増やす。</p> <p>◆目標：平成24年度までに10回の自然教室の企画運営及び自然探検隊活動を行う。</p> <p>◆実績：①交流センターささま、水と里山を守る会、六合コミュニティ委員会、初倉コミュニティ里楽校がホタルの観賞会を実施した。②大津自治会がやまめのつかみ取り、ハイキングを行った。③ぼうけんクラブが大井川ボート下りで水とふれあいの活動を実施した。④しまだ環境ひろばが第5小学校で冬鳥の観察会を行った。⑤交流センターささまが流しソーメン、竹飯、やまめのつかみ取り、竹細工、林業体験を実施した。⑥しろやまゆいの会と初倉コミュニティ里楽校が七夕まつりで竹細工体験イベントを実施した。⑦水と里山を守る会が上野田の古民家で自然教室を開催した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 1-4 水資源の保全

取組 1-4-1 水資源の適正利用

取組項目		事業等の内容	担当
秩序ある地下水の利用	継続	①地下水状況の把握 ◆目的：適正かつ合理的な水利用の推進を図り、地下水源の保全に努める。 ◆目標：地下水位・塩水化の観測及び採取量報告書の提出により、地下水の適正利用を推進する。 ◆実績：100者中99者（報告率99%）から年間採取量報告書の提出があり、正確な観測データを取得できた。	環境課
節水の推進	継続	②漏水調査の実施及び節水の啓発 ◆目的：有収率の上昇を図り揚水量を抑制する。水道使用量の節水を図る。 ◆目標：有収率82.5%、1人当たり水道使用量を0.28m ³ /日以下とする。 ◆実績：リークゾーン調査を240件実施した。漏水発見調査（60箇所、推定漏水量20.054m ³ /h）有収率は82.1%であった。一人あたりの水道使用量は0.26m ³ /日であり、目標を達成した。	水道課

2 ごみ

2-1 取組の状況及び評価

- ・この部門においては、平成23年度に合計で29の事業を実施しました。
- ・取組2-2-1「不用品の再利用の促進」に係る事業では、生活用品活用バンクの成立件数が227件でした。また、多くの市民団体がフリーマーケットを開催又は参加しました。
- ・取組2-3-2「生ごみの資源化の推進」に係る事業では、コンポスト・ボカシ2台、生ごみ処理機28台の購入に補助金を交付しました。また、多くの市民団体が生ごみを利用して堆肥をつくりました。
- ・取組2-3-3「剪定枝・落ち葉の資源化の推進」に係る事業では、田代環境プラザへの剪定枝の搬入が77トンあり、再資源化の結果、53トンを腐葉土として市民への販売、またイベント等において配布しました。
- ・取組2-3-4「エネルギー資源としての活用の推進」に係る事業では、田代環境プラザにおいて、ごみ処理により発生する熱を回収して発電を行い、余剰電力は売電しました。また、市内約40団体がペットボトルキャップの回収を実施しました。
- ・取組2-5-1「美化活動の推進」に係る事業では、市内75団体で市内一斉川ざらいを実施し、659トンの土砂を浚渫しました。
- ・取組2-6-1「ごみの収集・処理の最適化」に係る事業では、島田市環境衛生自治推進協会による不法投棄のパトロールを年間5回実施しました。

◆環境の目標

項目	基準値 (H13年度)	H23年度	目標値 (H24年度)	項目別評価（目標に対する進捗状況）	
				達成率	内容
1人あたりごみ排出量	735g/人・日	830g/人・日	603g/人・日	▲72.0%	前年度よりも減少したが、基準値を超えているため、ごみ減量に努める必要がある。
リサイクル率	20.7%	23.2%	30%	26.9%	直接資源化している古紙の全体量が減少したため、前年度より低下した。

◆事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成23年度の事業等実施数
2-1 ごみの発生抑制 Refuse & Reduce !	2-1-1 環境にやさしい製品の普及	2
	2-1-2 ごみをつくらない・売らない・買わないしくみの構築	3
2-2 再利用の促進 Reuse !	2-2-1 不用品の再利用の促進	3
2-3 再資源化の促進 Recycle !	2-3-1 資源分別の徹底	3
	2-3-2 生ごみ資源化の推進	5
	2-3-3 剪定枝・落ち葉の堆肥化の推進	1
	2-3-4 エネルギー資源としての活用の推進	2
2-4 ごみに対する意識改革	2-4-1 情報の共有と発信	1
2-5 環境美化の推進	2-5-1 美化活動の推進	3
2-6 ごみの適正処理	2-6-1 ごみの収集・処理の最適化	5
	2-6-2 ごみ処理による環境への負荷の低減	1
合 計		29

2-2 事業等の内容

取組の基本的方向 2-1 ごみの発生抑制 Refuse & Reduce !

取組 2-1-1 環境にやさしい製品の普及

取組項目		事業等の内容	担当
環境にやさしい製品の普及	後期	<p>①私たちはごみは買いません（パートⅠ・ごみの出ない環境に優しい製品の普及を推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：製品の製造から流通・販売に至るまでごみの出ない工夫に取り組む（製品や）販売店を支援し普及を図る。 ◆目標：エコショップしまだ認定制度について、市と共に検討し、制度の拡充を図る。 ◆実績：①生活クラブ生協静岡志太支部が各種リターナルびん・牛乳びんキャップ・ピッキング袋・注文書袋の再利用の普及を推進した。②島田市消費者グループがエコショップの調査を20店舗で行った。③ガールスカウト静岡県第17団がユニクロとタイアップして、ユニクロの古着を回収した。 	市民グループ
ごみの出ない環境にやさしい製品を買うための調査研究と発信	後期	<p>②私たちはごみは買いません（パートⅡ・ごみの出ない環境にやさしい製品を買うための調査研究と発信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：製造から流通・販売に至るまで環境に負荷をかけない工夫をしている製品や販売店舗を紹介して、消費者の選別行動を側面から補助するとともに、環境にやさしい製品を販売したり、工夫している店舗を応援することにより、多くの人々がごみ減量に参加できることを目指す。 ◆目標：ごみの出ない環境にやさしい製品を市と事業者と市民グループが調査・研究し、広報やeコミしまだ等の地域メディアを利用して情報を発信していく。 ◆実績：①生活クラブ生協静岡志太支部が各種リターナルびん・牛乳びんキャップ・ピッキング袋・注文書袋の再利用の普及を推進し、600名の会員に情報発信した。②しまだ環境ひろばが広報紙やeコミしまだ等の地域メディアを利用して情報を発信した。 	市民グループ

取組 2-1-2 ごみをつくらない・売らない・買わないしくみの構築

取組項目		事業等の内容	担当
マイバックスの持参とレジ袋の削減	継続	<p>①私たちはごみは買いません（パートⅢ・「レジ袋は必要ですか？」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：「便利だから」とついもらってしまうレジ袋も家に帰ればごみ。物の命を大切に、不要・不急なものは断りながら、それでもチョットおしゃれなマイバッグや風呂敷でお買い物を楽しみましょう。 ◆目標：平成19年4月に設立した島田市マイバッグ推進協議会の参加業種の拡大を図る。 ◆実績：市内9社14店舗でレジ袋無料配布中止を継続している。また、ホームセンター、コンビニ等でもレジ袋削減に努めている。 	市民グループ
簡易包装・ばら売り・量り売りの推進	継続	<p>②私たちはごみは買いません（パートⅣ・簡易包装・ばら売り・量り売りの推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：販売者は、簡易包装・ばら売り・量り売りをする事により、省資源・コスト削減を図り、消費者はその品物を買うことによってごみ減量を支援する。 ◆目標：平成24年度末までに調査・研究を行う。 ◆実績：大手スーパー14店舗ではばら売り、個人商店の精肉・青果店ではばら売り・量り売りが見られた。 <p>③島田市環境にやさしい店舗認定制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：循環型社会の形成の推進及び市民の環境保全に対する意識の高揚を図る。 ◆目標：エコショップしまだ認定100店舗とし、環境に対する取組が一般的に行われる状況にする。 ◆実績：新規の認定店舗はなかった。 	市民グループ 環境課

取組の基本的方向 2-2 再利用の促進 Reuse!

取組 2-2-1 不用品の再利用の促進

取組項目		事業等の内容	担当
生活用品活用バンクの充実	継続	①生活用品活用バンクの運営の支援 ◆目的：まだ使えるのに不用となった家庭用品を必要とする人に斡旋し、ごみの減量と再利用を促進するとともに、物を大切に作る心を育てる。 ◆目標：PRに努め、できるだけ多くの利活用を目指す。 ◆実績：毎週火・木曜日に生活用品活用バンクを開設した。	市民安全課
フリーマーケットの促進	継続	②生き生きごみ作戦（パートI・フリーマーケットの促進） ◆目的：使わなくなった生活用品が他の人によって再び生き生きとするために、皆が利用しやすいスタイルのフリーマーケットを推進する。 ◆目標：毎年フリーマーケットの開催状況を把握し、平成24年度までに皆が利用しやすいように拠点整備と再利用システムをつくる。 ◆実績：①島田市消費者グループ、フリースペース・うえるびーがフリーマーケットを開催した。②環境フェアネットワーク島田が環境フェアで不用品交換市を開催した。③しまだ次世代育成支援ネットワークが「もったいないをプレゼント」を開催した。④ガールスカウト静岡県第17団がユニクロとタイアップして、不用になったユニクロ商品を回収した。⑤アピタ島田店が不用になった衣料品を引き取り、引換券をプレゼントした。	市民グループ
粗大ごみの回収・再利用のしくみの構築	継続	③粗大ごみの回収・再利用のしくみの構築 ◆目的：再利用できるものは再利用し、廃棄物を減量する。 ◆目標：再利用できるものは、生活用品活用バンクやフリーマーケットの利用を促進し、資源の有効利用とごみの減量を図る。 ◆実績：収集カレンダーへ「生活用品活用バンク」を掲載した。	環境課

取組の基本的方向 2-3 再資源化の促進 Recycle!

取組 2-3-1 資源分別の徹底

取組項目		事業等の内容	担当
古紙回収のしくみの充実	継続	①集団回収実施団体への支援 ◆目的：集団回収実施団体の活動を支援することにより、市民の分別意識の高揚を図る。 ◆目標：古紙全体量の中の集団回収の比率を高める。 ◆実績：登録団体は前年度より7団体の増、回収量は減少傾向にある。組成調査において、古紙混入率が前年度より2.52%増となった。	環境課
ペットボトル・トレイ回収のしくみの充実	継続	②ペットボトル・トレイの拠点回収 ◆目的：ペットボトル・トレイの資源化の徹底を図る。 ◆目標：回収拠点の増加やステーション収集の充実により、回収量を増やす。 ◆実績：広報等で分別の徹底をPRしたが、可燃ごみへの混入率は前年度の3.2倍増という結果になった。	環境課
新たな資源分別区分の検討	継続	③新たな資源分別区分の検討 ◆目的：更なる資源化を進め、廃棄物を減量する。 ◆目標：新たな資源分別を増やす。 ◆実績：指定法人（容器包装リサイクル協会）の処理ルートと市独自の処理ルートとの併用が難しく、「色つきトレイ」の処理ルートが確立できなかった。	環境課

取組 2-3-2 生ごみの資源化の推進

取組項目	事業等の内容	担当
生ごみの資源化の手法の調査・研究	継続 ①生ごみ堆肥化の調査・研究 ◆目的：生ごみを堆肥化し、廃棄物の減量を推進する。 ◆目標：生ごみを堆肥化する実施可能な方法について調査・検討を行う。 ◆実績：これまでの実績がある事業所からは、引き続き分別排出の協力があった。	環境課
	②生き生きごみ作戦（パートⅡ・生ごみ資源化の手法の調査・研究） ◆目的：生ごみは最も身近な資源なので、その活用方法の調査・研究を進め、ごみ減量と資源化を目指す。 ◆目標：毎年、調査・研究を行う。 ◆実績：①しまだ環境ひろばが先進事例の調査・研究を行った。②生ごみ資源化地域協議会が生ごみの資源化を目指し、地域循環モデルの構築に着手した。会議開催、市環境課との意見交換会、生ごみセミナー開催、藤枝市生ごみ分別収集見学・研究、生ごみ堆肥化他団体交流を実施した。③金谷コミュニティ委員会環境部会が「ごみゼロフェスタしずおか」に参加した。	市民グループ
生ごみの堆肥化の地域循環のしくみの構築	継続 ③生ごみの地域循環システムの検討、モデル事業の支援 ◆目的：家庭等から出される生ごみの資源化を図る。 ◆目標：生ごみ堆肥化等事業を行うものに対する支援、生ごみ堆肥の農業利用システムについて検討する。 ◆実績：なし	農林課
	④生き生きごみ作戦（パートⅢ・生ごみの堆肥化の地域循環のしくみをつくる） ◆目的：生ごみを回収して堆肥化⇒その堆肥で農産物を生産⇒農産物を買うという、物と人とのネットワークをつくり、生ごみを資源として地域での循環を図り、ごみ減量を目指す。 ◆目標：平成24年度までに生ごみの資源化を目指し、地域循環のモデルを構築する。1,000世帯の参加を目標とする。 ◆実績：①川根町婦人会が生ごみ資源化、ダンボールコンポストの普及を行った。②まちづくり川根の会がダンボールによる生ごみ資源化を地域全体で取り組んだ。③ボカシネットワークしまだがボカシ堆肥作りを推進した。④金谷ライフクリエイターサークルが生ごみ利用の堆肥作りを行った。⑤しまだ環境ひろばが「さんさんボックス法」で堆肥作りと生ごみ堆肥化学習会、体験講座を実施した。⑥C. E. E. Sが生ごみの堆肥化を行った。	市民グループ
生ごみの処理容器等購入への補助制度の維持	継続 ⑤生ごみ処理容器等購入費補助金 ◆目的：家庭から排出される生ごみを減量するとともに、ごみ減量に対する意識の高揚を図る。 ◆目標：生ごみ処理容器等の購入を補助し、家庭から排出される生ごみの減量を図る。 ◆実績：コンポスト2台、生ごみ処理機28台の補助金を交付した。広報紙やFMしまだで故障時の再度補助適用などPRしたが、購入件数の増につながらなかった。	環境課
食品関連事業者による食品リサイクルの推進	継続 ⑥食品関連事業者による食品リサイクルの推進 ◆目的：食品廃棄物の発生抑制・減量・リサイクルを推進する。 ◆目標：生ごみの堆肥化を促進する。 ◆実績：年間で19.4tの堆肥を販売・配布した。	環境課

取組 2-3-3 剪定枝・落ち葉の資源化の推進

取組項目	事業等の内容	担当
公園等から発生する剪定枝・落ち葉の堆肥化の推進	継続 ①剪定樹木堆肥化の推進 ◆目的：草木系廃棄物の適正処理の観点から、廃棄物としての発生抑制・リサイクルの拡大を図る。 ◆目標：剪定樹木の堆肥化を推進し、草木系廃棄物の有効利用を図る。 ◆実績：剪定枝搬入量77t、資源化(腐葉土)量53tであり、草木系廃棄物の有効利用が図られた。	環境課

取組 2-3-4 エネルギー資源としての活用の推進

取組項目		事業等の内容	担当
ごみ焼却排熱の有効利用	継続	①ごみ焼却排熱の有効利用 ◆目的：ごみ処理施設の排熱を利用して発電し、エネルギーとして有効に活用する。 ◆目標：省エネルギー推進のため、排熱を利用した発電により、施設内の電力を賄い、余剰電力については売電する。 ◆実績：ごみ焼却施設の排熱利用による発電量が3.2%増加したことにより、売電量が3.3%増加した。	環境課
エネルギー資源としての活用の調査・研究	後期	②エネルギー資源としての活用の調査・研究 ◆目的：地域で発生する廃棄物のエネルギー利用を進める。 ◆目標：廃食用油等のエネルギー有効利用を進める。 ◆実績：島田市内約40団体がペットボトルキャップの回収を実施した。	市民グループ

取組の基本的方向 2-4 ごみに対する意識改革

取組 2-4-1 情報の共有と発信

取組項目		事業等の内容	担当
ごみに関する情報の共有と発信	後期	①ごみに関する情報の共有と発信 ◆目的：ごみの減量に向けた取組を徹底する。 ◆目標：ごみに関する情報の共有・発信を進め、ごみへの関心を高める。 ◆実績：広報紙及びホームページでごみに関する情報提供を行った。また、田代環境プラザの見学者に対して、ごみの減量に向けた啓発を行った。	環境課

取組の基本的方向 2-5 環境美化の推進

取組 2-5-1 美化活動の推進

取組項目		事業等の内容	担当
ごみのないまちづくりの推進	継続	①ごみのない美しいまちづくり条例 ◆目的：条例の規定により、市内に設置される自動販売機に関しては許可証を交付し、自動販売機を把握する。 ◆目標：自動販売機及び資源回収箱を適正管理する。 ◆実績：なし	環境課
地域の美化活動の推進	継続	②地域住民による美化活動の支援 ◆目的：環境美化への意識高揚を図る。 ◆目標：市民の自主的な取組による清潔で住みよい環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 ◆実績：市内一斉環境美化活動（川ざらい）は、4月16・17日に行い、659tの土砂を浚渫した。また、川ざらい時の搬入車両の賃借料に対して、全体で1,083千円の補助を行った。	環境課
里親制度導入の検討	継続	③ボランティア・サポート・プログラム事業 ◆目的：ごみのない美しいまちづくりを推進する。 ◆目標：ボランティア・サポート・プログラムに基づく、地域住民や団体等の自主的な活動による環境美化活動を推進する。 ◆実績：ボランティア・サポート・プログラムに基づく地域住民や団体等の自主的な活動により、国道1号のインターチェンジ周辺において環境美化活動を実施した。	環境課

	継続	<p>④島田市全域へのごみの里親制度の定着化</p> <p>◆目的：市民と行政の協働によりごみのない街づくりを推進する。</p> <p>◆目標：国土交通省のボランティア・サポート・プログラムや静岡県のアダプト・ロード・プログラム等のしくみを島田市全域に拡大する。</p> <p>◆実績：①静岡県トラック協会中部支部（12回）、島田商工会議所（2回）、島田青年会議所（10回）、CRCセントラルリバークラブ（6回）、番屋金谷（3回）、㈱伊東工業（12回）、家庭倫理の会静岡中部（10回）、島田市職員互助会（2回）、環境市民くらぶ（2回）がボランティア・サポート・プログラムによる国道1号バイパスのごみ拾いを実施した。②金谷ライフクリエイターサークルが掛川旧日坂街道のごみ拾いを実施した。③大津谷川を愛する会がリバーフレンドシップを締結して、大津谷川のごみ拾いを実施した。④小さな親切運動で市内のごみ拾いを実施した。⑤家庭倫理の会静岡中部が島田駅周辺と初倉の中条景昭銅像周辺の清掃活動を実施した。⑥まちづくり川根の会がアダプト・ロード・プログラムにより、島田川根線身成地区で美化活動を実施した。⑦金谷コミュニティ委員会環境部会が県道島田金谷線でごみ拾いを実施した。⑧ガールスカウト静岡県第17団が駅前周辺のごみ拾いを実施した。</p>	市民グループ
--	----	---	--------

取組の基本的方向 2-6 ごみの適正処理

取組 2-6-1 ごみの収集・処理の最適化

取組項目		事業等の内容	担当
ごみ処理施設の計画的な整備の推進	継続	<p>①一般廃棄物最終処分場維持管理</p> <p>◆目的：廃棄物の適正処理及び水処理施設の維持管理を行う。</p> <p>◆目標：現行施設の延命化を図り、有効利用する。</p> <p>◆実績：昨年度より掘り起こし量が約600 t増加した。</p>	環境課
事業者が排出するごみの適正処理	継続	<p>②事業者が排出するごみの適正処理指導</p> <p>◆目的：事業者の廃棄物に対する意識高揚を図る。</p> <p>◆目標：排出者の自己処理責任に基づいた適正処理を促進する。</p> <p>◆実績：収集カレンダーと商工会議所の会報で、ごみ集積場への事業所ごみの排出禁止と事業所ごみの処理方法を掲載し、事業者責任の徹底を図った。</p>	環境課
ごみの収集ルール of 検討	継続	<p>③ごみ収集ルールの検討</p> <p>◆目的：最適な収集ルールを確立する。</p> <p>◆目標：新たなごみ分別ルールを検討し策定する。</p> <p>◆実績：市民の分別に関する問い合わせを精査し、収集カレンダーの一部変更や「ごみ分別辞典」の品目を増やして、カレンダーの内容を具体化した。</p>	環境課
ごみの不法投棄の防止	継続	<p>④島田市環境衛生自治推進協会による不法投棄のパトロール</p> <p>◆目的：ごみや産業廃棄物の不法投棄をなくす。</p> <p>◆目標：不法投棄のパトロールを実施し、市民・事業者への啓発及び意識高揚を図る。</p> <p>◆実績：7・9・11・12・2月の計5回のパトロールを実施した。家電製品やタイヤが少なくなり、全体的に不法投棄の量が少なくなってきた。</p>	環境課
		<p>⑤不法投棄の防止に関する検討会開催</p> <p>◆目的：不法投棄を防止する。</p> <p>◆目標：行政・事業者・市民が集まり、デポジット制度の導入やリターナブルびんの推進などの検討を行う。</p> <p>◆実績：大津谷川を愛する会がごみ拾いの後に不法投棄の防止に関する反省会を実施した。</p>	市民グループ

取組 2-6-2 ごみ処理による環境への負荷の低減

取組項目		事業等の内容	担当
収集車両及び処理施設からの環境負荷の低減	継続	<p>①低公害の収集車両導入の推進及び処理施設からの環境負荷の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：低公害車の導入により環境負荷の低減を図る。施設からのダイオキシン類の発生を抑制する。 ◆目標：委託業者の使用車両を含めた低公害車両の導入率の向上を図る処理施設からのダイオキシン類濃度の排出基準値（地元協定値）を遵守する。 ◆実績：更新車両1台を低公害車とした。処理施設では、ガス燃焼温度を800℃以上に保つ運転をした。 	環境課

3 エネルギー・まちと交通

3-1 取組の状況及び評価

- ・この部門においては、平成23年度に合計で27の事業を実施しました。
- ・取組3-1-1「総合的な温暖化防止対策を目指した取組の推進」に係る事業については、地球温暖化対策など環境への取組を効率的に進めるための環境マネジメントシステムである「エコアクション21」を導入し、温室効果ガスの排出抑制に努めています。
- ・取組3-2-1「省エネルギー行動の推進」に係る事業については、自治体イニシアティブ・プログラムによるエコアクション21取得セミナーを開催し、9事業者が参加しました。平成23年度にエコアクション21を認証取得した市内9事業者の内5事業者が平成22年度取得セミナーに参加しています。
- ・取組3-3-1「太陽エネルギー利用の促進」に係る事業については、エコマイハウス支援事業費補助制度の利用が76件あり、一般家庭への普及が順調に進んでいます。
- ・取組3-4-1「歩きやすい道路の整備」に係る事業では、歩行者や自転車利用者の安全安心が保たれるよう、歩道整備を実施しました。
- ・取組3-5-2「まちなかのみどりを活かした防災体制の整備」に係る事業については、生け垣づくり補助制度の利用が24件あり、みどり豊かなまちづくりの推進とともに、地震等による災害防止にも寄与しています。

◆環境の目標

項目	基準値	H23年度	目標値 (H24年度)	項目別評価(目標に対する進捗状況)	
				達成率	内容
電気使用量	713,492Mwh (H16年度)	771,782Mwh	現状維持	要改善	基準値は旧島田市・旧金谷町・旧川根町のデータがあるH16年度とした。
自動車保有台数	84,967台 (H13年度)	86,110台	減少	要改善	基準値より増加しているが、徐々に減少している。(基準値は旧島田市・旧金谷町・旧川根町の合計値)

◆事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成23年度の事業等実施数
3-1 温暖化防止対策の推進	3-1-1 総合的な温暖化防止対策を目指した取組の推進	1
3-2 省エネルギーの推進	3-2-1 省エネルギー行動の促進	6
	3-2-2 省エネルギー型機器導入の推進	6
3-3 地域エネルギー利用の推進	3-3-1 太陽エネルギー利用の促進	4
	3-3-2 地域エネルギー利用の推進	2
3-4 ちょっくら歩ける道路とにぎわいのまちづくりの推進	3-4-1 歩きやすい道路の整備	4
	3-4-2 人にやさしくにぎわいのあるまちづくりの推進	1
3-5 環境にやさしく、災害に強いまちづくり	3-5-1 市街地等の家屋密集地の防災体制の整備	2
	3-5-2 まちなかのみどりを活かした防災体制の整備	1
合計		27

3-2 事業等の内容

取組の基本的方向 3-1 温暖化防止対策の推進

取組 3-1-1 総合的な温暖化防止対策を目指した取組の推進

取組項目		事業等の内容	担当
総合的な温暖化対策を目指した取組の推進	継続	①島田市地球温暖化対策実行計画の推進 ◆目的：温室効果ガスの排出抑制に努め、地球温暖化防止に寄与する。 ◆目標：温室効果ガス排出量を平成21年度を基準として5%削減する。 （目標値 16,324t-CO2/年）（目標年：平成27年） ◆実績：エコアクション21の認証取得範囲を拡大した。エコアクション21の運用により、温室効果ガスの排出量が減少した。	環境課

取組の基本的方向 3-2 省エネルギーの推進

取組 3-2-1 省エネルギー行動の促進

取組項目		事業等の内容	担当
家庭版環境マネジメント事業の推進	継続	①家庭版環境マネジメント事業（ふじのくにエコチャレンジDAYs事業） ◆目的：環境に配慮した生活を推進する。 ◆目標：平成24年度までに2,000世帯の参加を目標とする。 ◆実績：1,651世帯にチャレンジシートを配布し、1,180世帯から回収した。二酸化炭素排出削減量は3,540.6kgであった。	環境課
エコアクション21認証取得の促進	継続	②事業所に対するエコアクション21認証制度の導入 ◆目的：事業所における日常的な省資源・省エネルギー行動の推進を図るため、エコアクション21認証制度の取得を促進する。 ◆目標：毎年、自治体イニシアティブプログラムによる取得セミナーを実施し、300事業者の取得を目指す。 ◆実績：9事業者が自治体イニシアティブ・プログラムに参加した。また、市内9事業者がエコアクション21の認証を取得した。その内5事業者が平成22年度取得セミナーを受講している。	環境課
「省エネルギーの日」の推進	継続	③「省エネルギーの日」の推進 ◆目的：省エネルギーの日についての意識の高揚を図り、省エネ行動に取り組む。 ◆目標：市民全員が取り組む。（環境フェア等のアンケート調査により確認する。） ◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、省エネのPRを行った。②しまだ環境ひろばが歩歩路の掲示板に省エネルギーの日と節電のPRを行い、同ホールに1ヶ月間「節電大看板」を設置した。また、eコミしまだにて家庭での節電行動を呼びかけ、くらしのフェアにおいて「賢く使って上手に節電」のPRを行った。③生活協同組合コープしずおかが12月から2月にかけて「冬も節電1日エコライフ」実施した。また、5月の電気使用量を前年より減らす電気ダイエット活動を実施した。④島田市消費者グループが7月から8月の電気料金アンケート調査を行い、節電を呼びかけた。	市民グループ

自動車利用に伴う環境負荷の低減	継続	<p>④コミュニティバス運行</p> <p>◆目的：交通不便者への対策等とともに、自動車交通量の抑制により、省エネルギーを推進する。</p> <p>◆目標：コミュニティバス路線の拡大と利用促進を図る。</p> <p>◆実績：・大津線延伸・ダイヤ改正 10月11日から延伸、ダイヤ改正（停留所3箇所新設） ・湯日地区デマンド型乗合タクシーの運行 7月1日運行開始、利用実績108人 ・バリアフリー対応車両の導入 中型ノンステップバスを12月から運行 ・ICカード対応運賃箱の整備 年度末までにコミュニティバス全車両（8両）を改修 ・バスマップ時刻表 9月15日号広報にて各戸配付、10月以降市民課窓口にて転入届時に配布</p>	市民安全課
	後期	<p>⑤ノーカーデーの実施</p> <p>◆目的：通勤等における自動車利用の抑制により、二酸化炭素を削減する。</p> <p>◆目標：毎月1回、臨時職員・嘱託職員を含む全職員がノーカーデーに協力し、二酸化炭素排出量を削減する。</p> <p>◆実績：前年よりも3.1%二酸化炭素削減量が増加した。</p>	環境課
	継続	<p>⑥カーフリーデーの実施</p> <p>◆目的：カーフリーデーのPRと行動を推進する。</p> <p>◆目標：市民全員が取り組む。（環境フェア等のアンケート調査により確認する。）</p> <p>◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、省エネのPRを行った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、カーフリーデーの意義とその勧めをPRした。③しずてつジャストライン(株)が「エコ家族割引」のチラシでバス利用をPRした。④環境市民くらぶが歩歩路掲示板に③のチラシを掲示して、バス利用を呼びかけた。⑤JR東海が「週末は電車に乗って静岡へ」「電車に乗って浜松まちなかへ」のお買い物切符を販売し、電車利用のキャンペーンを行った。</p>	市民グループ

取組 3-2-2 省エネルギー型機器導入の推進

取組項目		事業等の内容	担当
省エネルギー型機器導入のための情報の発信	継続	<p>①省エネルギー型機器導入のためのマニュアルの活用</p> <p>◆目的：情報紙やフェアを通して、省エネルギー型機器についての情報を積極的に発信する。</p> <p>◆目標：全世帯において省エネルギー型機器導入のための既成のマニュアルを活用する。</p> <p>◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、省エネのPRを行った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、省エネルギー型機器の導入とその効用についてPRした。</p>	市民グループ
省エネルギー型機器の導入への経済的な支援制度の利用促進	後期	<p>②省エネルギー型機器導入への経済的な支援制度についての情報提供</p> <p>◆目的：省エネルギー型機器導入を促進することにより、環境負荷を低減する。</p> <p>◆目標：広報紙やホームページへの掲載、またパンフレット等により、支援制度についての情報提供を行う。</p> <p>◆実績：ホームページでグリーン家電普及促進事業についてお知らせした。</p>	環境課
		<p>③経済的な支援制度の利用促進</p> <p>◆目的：経済的支援制度の内容について市民に周知を図り、省エネルギー型機器の導入を推進する。</p> <p>◆目標：環境フェアなどを通して、年2回以上情報発信を行う。</p> <p>◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、国・県等の支援制度のPRを行った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、省エネルギー型機器の導入支援情報を発信した。</p>	市民グループ

環境にやさしい自動車の導入の促進	継続	④低公害車の導入に対する補助制度等についての情報提供 ◆目的：低公害車等の導入により、省エネルギー対策及び大気環境の改善を推進する。 ◆目標：広報紙やホームページへの掲載、またパンフレット等により、補助制度についての情報提供を行う。 ◆実績：ホームページでエコカー減税及びエコカー購入補助金についてお知らせした。	環境課
		⑤環境にやさしい自動車の導入促進 ◆目的：支援制度の内容について市民に周知を図り、環境にやさしい自動車の導入を推進する。 ◆目標：環境フェアなどを通して、年2回以上情報発信を行う。 ◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアで情報を発信した。②しずてつジャストライン(株)がバス利用の「エコ家族割引」を実施した。また、低NOx・低PM車両、圧縮天然ガス車の導入及びエコドライブを実施した。③生活協同組合コープしずおかが島田地区での配送センターで配送トラックのエコドライブを実施した。④環境市民くらぶが菜種栽培時に参加市民に対してBDFオイルの効用をPRした。⑤しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、ハイブリッド車、EV車などをPRした。また、菜種栽培を通して廃油利用の循環型社会の構築に貢献した。	市民グループ
		⑥環境にやさしい自動車（低公害車）の導入 ◆目的：省エネルギー型機器の導入を推進するために、環境にやさしい自動車（低公害車）を導入する。 ◆目標：公用車の更新時に、低公害車（ハイブリッド車等）の導入を検討する。 ◆実績：公用車更新時における低公害車の導入率は100%であった。また、不要な公用車の処分を行い、リース車も必要最低限とした。	管財課

取組の基本的方向 3-3 地域エネルギー利用の推進

取組 3-3-1 太陽エネルギー利用の促進

取組項目		事業等の内容	担当
太陽エネルギー利用に関する普及啓発	継続	①住宅用太陽光発電システム・太陽熱利用温水器設置費補助制度の周知 ◆目的：本制度を積極的に利用していただくため普及啓発活動を実施し、市民への周知を図る。 ◆目標：太陽エネルギーの積極的な利用が行われるように市民への周知、意識の高揚を図る。 ◆実績：市ホームページでのお知らせ（通年）、広報紙への掲載（7月1日号）、FMしまだでのシティインフォメーション（6月22日）でPRを行った。また、環境フェア（6月4日）、建てよう家セミナー（9月9日・3月4日）にて、補助制度をお知らせした。	環境課
		②利用についてその効果や利用設備に関する情報の発信 ◆目的：太陽エネルギー設備の利用拡大のため、情報紙や環境フェアを通して情報を発信する。 ◆目標：毎年環境月間に合わせて環境フェアを開催する。情報紙へ掲載しPRする。 ◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアで情報発信した。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、太陽光発電の意義とその有効性について投稿しPRした。	市民グループ
		③太陽光発電の公共施設への導入 ◆目的：クリーンエネルギーである「太陽エネルギー」の利用促進を図る。 ◆目標：公共施設の整備（学校施設の改築を含む）に合わせ、太陽光発電施設の導入を図る。 ◆実績：公共施設への太陽光発電設備の設置は行われなかった。	建築住宅課

太陽エネルギー利用設備導入の促進	継続	④住宅用太陽光発電システム・太陽熱利用温水器設置費補助金 ◆目的：地球温暖化等の環境問題が進む中で、温室効果ガス削減のための市民の取組を推進するため、個人での実施が可能でクリーンエネルギーのひとつである太陽エネルギー利用促進事業に補助金を交付し、環境啓発を推進する。 ◆目標：太陽エネルギー利用設備導入助成利用者の発電累計容量を平成25年度までに2,890kWを目指す。(総合計画より) ◆実績：エコマイハウス支援事業費補助金の利用件数は76件、発電容量は354.1kwあった。	環境課
		⑤太陽エネルギー利用の拡大 ◆目的：太陽エネルギー設備利用の導入を図る。 ◆目標：一般住宅で5%、公共施設で50%の普及を目指す。 ◆実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、太陽エネルギー設備について情報発信し、利用の拡大を図った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、利用者の実態情報を提供した。	市民グループ

取組 3-3-2 地域エネルギー利用の推進

取組項目		事業等の内容	担当
地域エネルギー利用に関する普及啓発	継続	①地域エネルギー導入の促進 ◆目的：地域で発生するものを利用したエネルギーの資源化を推進する。 ◆目標：廃食油をエネルギーに転用する。菜の花プロジェクトの拡大を図る。 ◆実績：①環境市民くらぶ(40a)、しまだ環境ひろば(9a)、水と里山を守る会(10a)、そのだ農園(10a)が菜種の栽培を行った。②しまだ環境ひろばが油桐、唐ゴマの種まき栽培、BDF実用化の実験を行い、菜種栽培を通して廃食油を利用し、循環型社会の構築に貢献した。	市民グループ
		②伊太谷川の水力発電と水害防止、親しめる水辺づくり ◆目的：地域エネルギーの開発と防災対策、親水空間の取り戻しを行う。 ◆目標：計画の普及啓発を行う。 ◆実績：①環境市民くらぶが環境フェアでパネルを展示しPRした。また、国内小水力発電所の調査を行い、計画の具体化を検討した。②しまだ環境ひろばが環境フェアに出展し、小水力発電をPRした。新エネルギー(主に小水力発電)情報交換会開催、小水力発電で県・市・土地改良区を訪問し情報交換、セミナー、講演会、現地調査、eコミしまだにて小水力等再生可能エネルギーのPR・参加呼びかけ、「県小水力等利用推進協議会」へ入会し、総会へ出席した。	市民グループ

取組の基本的方向 3-4 ちょっくら歩ける道路とにぎわいのまちづくりの推進

取組 3-4-1 歩きやすい道路の整備

取組項目		事業等の内容	担当
ユニバーサルデザインを取り入れた道づくりの推進	継続	①人にやさしいまちづくり推進プラン(計画区域) ◆目的：島田市障害者計画に基づき、障害者・高齢者等に配慮した道路等の公共施設の改善・整備を行う。 ◆目標：ユニバーサルデザインの趣旨、静岡県福祉のまちづくり条例に適合した施設整備を推進し、「安全でわかりやすく快適に移動できる」を視点に、まちづくり整備事業等とも連動した公共施設づくりを行う。 ◆実績：平成21年度に計画区域については事業が完了した。	福祉課

		<p>②島田市交通バリアフリー法基本構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：平成17年2月に策定した「島田市交通バリアフリー法基本構想」に基づき、高齢者・障害者等の通行の円滑化を図るため、歩道のバリアフリー化整備を行う。 ◆目標：基本構想の中では、JR島田駅を中心とした徒歩圏内で、公共施設や日常生活で利用する施設が集中している区域を重点整備地区（88ha）とし、当地区内で駅と主要施設を結ぶ6本の経路（総延長：3.1km）を「特定経路」と位置付け、バリアフリー化を図っていく。 ◆実績：事業化の目処が立たない中、現状においてできる範囲での整備を行った。 	福祉課
安全性に配慮した道づくりの推進	継続	<p>③幹線道路及び生活道路における歩道整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：歩行者や自転車利用者が安心して通行できる道路整備を推進する。 ◆目標：中心市街地については、横井中央線の整備（街路事業・電線共同溝事業）を平成28年度、中央公園道線の整備を平成25年度までに実施し、安全な歩行空間を実現していく。初倉地区については、中河南原線、谷口中河線、色尾大柳線及び住吉金谷線と（主）島田吉田線B Pの幹線道路網により、歩道のネットワークづくりを計画的に進める。金谷地区については、あんしん歩行エリアを設定し、平成24年度までに県公安委員会と共に歩行空間、信号機等の整備を進めていく。また、各道路改良（整備）事業により、歩道の整備を実施する。川根地区については、国道473号等の歩道整備を県に働きかけていく。（県事業） ◆実績：横岡新田牛尾線（125m）、中央公園道線（148m）の歩道整備を実施した。 	建設課
		<p>④通学路の安全性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：安心して子どもたちが通学できるよう、通学路（登下校）における安全を確保する。 ◆目標：通学路における登下校中に交通事故ゼロを目指す。 ◆実績：通学路における危険箇所の確認、交通安全教室の開催、PTA等の街頭指導により、登下校時の交通安全を図ることができた。 	学校教育課
		<p>⑤自転車等放置の防止に向けた自転車等駐車場の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：自転車の放置を防止し、歩きやすい道路環境とする。 ◆目標：島田駅周辺自転車等放置規制区域内の放置自転車を削減する。 ◆実績：島田駅北口・南口自転車等駐車場は、（社）島田市シルバー人材センターに運営を委託し、366日供用した。島田駅周辺自転車等放置規制区域における巡回活動等も（社）島田市シルバー人材センターに委託し、366日実施した。 	市民安全課

取組 3-4-2 人にやさしくにぎわいのあるまちづくりの推進

取組項目		事業等の内容	担当
歩いて楽しめるまちづくり	継続	<p>①歩いて楽しめるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：島田らしさを感じることができる歩いて楽しいまちづくりを進める。 ◆目標：案内板の設置や、まちの案内人制度の充実を図り、市内に点在する史跡・観光地・公園・商業地をネットワーク状につなぐため、現状を調査する。 ◆実績：①山桜ともみじの会が県道64号川根町渡島地先1.2kmの草刈りと桜苗木の補植を行った。②環境市民くらぶが「歩いて楽しい島田宿」をつくるため、本通七丁目街路のフラワーポットを管理した。③まちづくり川根の会家山川堰堤に河津桜を植樹した。 	市民グループ

取組の基本的方向 3-5 環境にやさしく、災害に強いまちづくり

取組 3-5-1 市街地等の家屋密集地の防災体制の整備

取組項目		事業等の内容	担当
電線類地中化の推進	継続	<p>①無電柱化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：安全で快適な通行空間の確保、都市災害の防止、都市景観の向上等を図る。 ◆目標：静岡県第二期無電柱化推進計画に基づき、横井中央線の道路拡幅事業の進捗に合わせて延長0.72kmの早期整備を目指す。 ◆実績：関係機関との合意形成が図られた計画延長（0.72km）に合わせて事業認可を取得した。 	都市計画課
雨水貯留・雨水利用設備設置の推進	継続	<p>②雨水浸透施設設置費補助事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：洪水の発生を防止し、地下水を涵養する。 ◆目標：雨水浸透施設設置者に対し補助金を交付する。 ◆実績：ホームページ及び建てよう家セミナーにより、補助制度のPRを行った。11月に（社）志太建築士会島田支部に補助制度のパンフレットを送付し、周知を図った。9件（13基）の申請があった。 	都市計画課
		<p>③雨水貯留施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：雨水の多目的な利用を行う。また、災害時の生活用水を確保する。 ◆目標：公共施設への貯留施設を整備し、雨水の再利用を図る。 ◆実績：新たな雨水貯留施設の設置は実施されなかった。 	都市計画課

取組 3-5-2 まちなかのみどりを活かした防災体制の整備

取組項目		事業等の内容	担当
防災機能をもったみどりの整備	継続	<p>①生け垣づくり補助事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：みどり豊かなまちづくりを推進するとともに、地震等による災害防止に寄与する。 ◆目標：生け垣づくり補助事業を推進する。 ◆実績：広報しまだ、建てよう家セミナー等により、補助制度の周知を図った。（実績）24件 1,433千円 	市街地整備課

4 食生活

4-1 取組の状況及び評価

- ・この部門においては、平成23年度に合計で22の事業等を実施しました。
- ・取組4-1-1-2「消費者への情報の発信」に係る事業では、多くの市民団体において情報紙が発行され、地場産品や地産地消に関する情報を発信しました。
- ・取組4-1-3-2「学校給食を通じた食育の推進」に係る事業では、市内12の小学校において食育ボランティアを導入し、米や野菜作り等の栽培体験学習を通じた食育に取り組みました。また、セレクト給食や市民試食会等の啓発事業を実施しました。
- ・取組4-1-4-1「栽培・収穫・加工体験の推進」に係る事業では、多くの市民団体において、そばや菜種、大豆等の栽培・収穫・加工体験が実施されました。
- ・取組4-1-4-3「食生活に関する学習の推進」に係る事業では、親子の食育教室や生活習慣病予防料理教室等を開催し、健全な食生活の普及啓発を推進しました。

◆環境の目標

項目	基準値 (H13年度)	H23年度	目標値 (H24年度)	項目別評価（目標に対する進捗状況）	
				達成率	内容
学校給食への地場産品取り入れの割合（重量ベース）	12.2%	40.8%	40%	102.9%	地場産品取り入れの割合は、目標値を達成した。
地場産品の域内流通の割合	20%	—	18.0%	—	静岡農林水産統計年報において、数値の算出がされなかった。

◆事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成23年度の事業等実施数
4-1 生産者の顔が見える安全な地場産品の普及	4-1-1 地産地消のしくみの構築	2
	4-1-2 消費者への情報の発信	2
4-2 農業を身近に感じるくらしの推進	4-2-1 農業を支えるしくみの構築	3
4-3 安全で豊かな学校給食の推進	4-3-1 安全で地域性あふれた食材の導入	1
	4-3-2 学校給食を通じた食育の推進	6
4-4 食への関心を高める行動の推進	4-4-1 栽培・収穫・加工体験の推進	4
	4-4-2 伝統的な食材や味の伝承	1
	4-4-3 食生活に関する学習の推進	2
4-5 環境負荷の少ない食生活の推進	4-5-1 エコクッキングの推進	1
合計		22

4-2 事業等の内容

取組の基本的方向 4-1 生産者の顔が見える安全な地場産品の普及

取組 4-1-1 地産地消のしくみの構築

取組項目	事業等の内容	担当
地場産品の販路の確保	<p>①島田市地産地消推進連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：食生活に対して安心・安全への関心が高まる中、朝市グループ、J A大井川、市民グループと市が連携し、地産地消の推進を図る。 ◆目標：定期的に連絡会を開催し、参加団体を増やす。 ◆実績：島田市地産地消推進連絡会の開催、第6回食育推進全国大会（三島市）へ参加、農業祭の開催（島田産業まつりへ参加）、市町対抗物産展・大井川マラソン・空港での朝市イベント等へ参加した。 	農林課
生産者・流通業者・消費者の交流の場の構築	<p>②地産地消のしくみづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：地産地消のしくみづくりに向けて生産者・流通業者・消費者の交流の場を持つ。 ◆目標：毎年1回以上交流の場を設ける。 ◆実績：①地産地消推進連絡会に市民グループ22団体が参加した。②地産地消祭りに市民グループ13団体が参加した。③さくら茶屋・大久保キャンプ場・やまゆりの3箇所地そばフェアを開催した。④J A大井川女性部が「地産地消を進めるクッキングフェスタ」を開催した。⑤川根地区の諸団体が島田・藤枝の中山間地域の体験交流施設や活動する仲間を結ぶ「天空の回廊」を進め、地域資源を活かしたツーリズム会議を開催した。⑥まちづくり川根の会が「川根いなりで包んであげ隊」の活動を実施した。⑦交流センターささまが「地域の食材を活かした料理の研究会」を開催した。また、吉田町神戸の「おひさま食堂」にて、地元の農産物を使った料理の視察研修を行った。⑧やまゆりで「山の駅弁フェスタ」が開催され、関係8施設から出品された。⑨お茶街道推進協議会がお茶を使った試食等のイベントを開催した。⑩しまだ環境ひろばが金谷かぼちゃ説明会に出席した。また、社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」に出展した。 	市民グループ

取組 4-1-2 消費者への情報の発信

取組項目	事業等の内容	担当
地産地消に関する情報の提供	<p>①朝市マップの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：地産地消に取り組んでいる朝市グループを紹介する朝市マップの掲載内容を更新していくことにより、地産地消の推進を図る。 ◆目標：朝市マップの掲載内容を更新する。 ◆実績：川根地区の追加を含め朝市マップの見直しを行った。朝市マップを印刷し、次年度に関係団体・市内施設等へ配布する。 	農林課
	<p>②朝市の取組や商店での地場産品コーナーについての調査及び広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：地場産品の流通状況を知り、広く広報を図る。 ◆目標：朝市マップにある生産者への取材、市内スーパーの農産物売り場の見学調査を行う。調査内容をしまだ環境ひろばニュース等に掲載する。 ◆実績：①しまだ環境ひろばが農林課と朝市マップ作りについて意見交換を行った。②そのだ農園が隔月で情報紙を発行した。（400枚×6回）③J A大井川まんさいかんが情報紙を発行した。（1,000枚×4回）④やまゆりが情報紙を発行した。（24,000枚/2回） 	市民グループ

取組の基本的方向 4-2 農業を身近に感じるくらしの推進

取組 4-2-1 農業を支えるしくみの構築

取組項目		事業等の内容	担当
環境に配慮した農業の推進	継続	①環境保全型農業の推進 ◆目的：環境に配慮した施肥や適正防除の実施を推進するとともに、JA大井川が設置運営している「環境にやさしい持続的農業の実践に向けた施肥監視システム（ECセンサー）」の有効利用の啓発を行う。 ◆目標：環境保全型農業を推進する。 ◆実績：雨量、気温等をリアルタイムで知ること、圃場の乾燥度や病害虫の発生が予測でき、それらを基に環境に配慮した農業を推進した。	農林課
農業に関する情報の共有	継続	②農業に関する情報の提供 ◆目的：市の広報紙等に農政関係の行事等を掲載し、市民が農林業に接する機会を提供する。 ◆目標：市民の農林業についての知識を深めてもらう。 ◆実績：体験型、参加型事業のPRや農薬安全指導のため、広報紙やホームページに「お知らせ」を掲載した。農業祭において、地元農産物の展示販売等を行った。また、一般市民を対象とした野菜作り講座を2回開催して、非常に好評を得た。	農林課
		③情報紙の発行と展示説明 ◆目的：市内各地各グループで行われている農作物の栽培体験事業を中心とした情報を提供する。 ◆目標：情報紙の発行、また、産業まつりやくらしのフェア等で展示を行う。 ◆実績：①そのだ農園が隔月で情報紙を発行した。(400枚×6回) ②JA大井川まんさいかんが情報紙を発行した。(1,000枚×4回) ③やまゆりが情報紙を発行した。(24,000枚/2回)	市民グループ

取組の基本的方向 4-3 安全で豊かな学校給食の推進

取組 4-3-1 安全で地域性にあふれた食材の導入

取組項目		事業等の内容	担当
安全で地域性あふれた食材取り入れのしくみの構築	継続	①学校給食地産地消推進事業 ◆目的：学校給食に安全な地場産品を導入する。 ◆目標：学校給食への地場産品の導入割合を平成24年で40%を目指す。(市内生産分) ◆実績：重量40.8%、品目数45.9%の市内地場産物の納入を行った。	学校教育課

取組 4-3-2 学校給食を通じた食育の推進

取組項目		事業等の内容	担当
食育ボランティアの導入と活用	後期	①食育ボランティアの導入と活用 ◆目的：ボランティアを活用した食育を推進する。 ◆目標：すべての学校に食育ボランティアを導入し、ボランティアを活用した食育に取り組む。 ◆実績：年間を通じて食育ボランティアを活用し、給食時間以外にも授業に参加し、体験型の活動を行った。	学校教育課
	後期	②食育の実施状況調査 ◆目的：学校の食育指導にボランティアがどう活用できるか、現状と課題を調査する。 ◆目標：各学校に対しアンケート調査を実施し、その結果について情報発信を行う。 ◆実績：①島田市内12団体が学校給食地産地消推進連絡会に参加した。 ②JA大井川女性部が小学校を対象に食育指導を行った。	市民グループ

	継続	<p>③食育についての教育の場での取組の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：教育の場でどのような食育がどのように取り組まれているかを調査し、保護者との連携の課題を見つける。 ◆目標：調査を実施し情報発信を行う。 ◆実績：しまだ環境ひろばが「学校給食試食会」に参加した。 	市民グループ
市民参加の給食週間の実施	後期	<p>④給食週間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：学校給食週間を活用して、市民（児童生徒・保護者を含む）に対する学校給食の啓発に努める。 ◆目標：セレクト給食の満足度 90%以上を目指す。 市民試食会の参加者数 300人以上を目指す。 ◆実績：セレクト給食の満足度が98.8%で目標を達成した。各調理場で市民試食会を開催し、196人の参加となった。学校・調理場と連携し、生産者を含めて学校給食事業に参加した。 	学校教育課
安全で豊かな学校給食の推進	後期	<p>⑤学校給食を考える会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市民（事業者含む）と市が学校給食をより安全で豊かなものとするために話し合う会を開催する。 ◆目標：安全で豊かな給食を進めるため、給食について話し合う機会を毎月もつ。 ◆実績：学校給食共同調理場運営委員会を年2回、物資選定委員会を年13回開催した。 	学校教育課
		<p>⑥学校給食地産地消連絡会への参加・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：地場産品の導入を進め、安全で豊かな学校給食のあり方について考え合う場をつくる。 ◆目標：定期的に行政と調整を図り、学校給食地産地消推進連絡会を推進していく。 ◆実績：島田市内12団体が学校給食地産地消推進連絡会に出席した。 	市民グループ

取組の基本的方向 4-4 食への関心を高める行動の推進

取組 4-4-1 栽培・収穫・加工体験の推進

取組項目		事業等の内容	担当
栽培・収穫・加工体験の場の整備・充実	継続	<p>①みかんの木オーナー制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：島田市特産の神座みかんのPRと合わせて、市民に収穫体験の場を提供する。 ◆目標：受入農家の定着を図り、農村と都市の交流を促進する。 ◆実績：受入農家説明会を開催（1回）し、受入農家数8戸、提供本数84本、オーナー数25人だった。 	農林課
	継続	<p>②栽培・収穫・加工体験の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：栽培・収穫・加工体験の場の現況を調査し、市民が身近に農作業体験をする中で市民のふれあいを進める。 ◆目標：現況調査を行い農業体験の場をつくり、広く市民に周知していく。 ◆実績：①しまだ環境ひろばがもち米栽培、梅収穫体験、菜の花栽培、大豆栽培・加工、さつまいも栽培体験を行った。（191人） ②やまゆりがそばの栽培・収穫・加工体験を行った。（95人） ③そのだ農園が大豆栽培・みそ加工体験、六合保育園の親子に対して米の栽培体験を行った。（50人） ④J A 大井川女性部が大豆の栽培・収穫・加工体験を行った。（80人） ⑤環境市民くらぶが菜種、大豆、ひまわりの栽培・収穫・加工体験を行った。（50人） ⑥交流センターささまがしいたけ、そば、さつまいも、麦の栽培・収穫・加工体験を行った。（100人） ⑦水と里山を守る会が菜種、大豆、そばの栽培・収穫・加工体験を行った。（74人） 	市民グループ

栽培・収穫・加工の指導者の養成・派遣	継続	<p>③栽培・収集・加工の指導者登録づくり（ネットワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：栽培・収集・加工の技術を持った方々とネットワークをつくり、農作業体験を指導してもらう。 ◆目標：市やJA等の事業者と協力し、指導者の掘り起こしと登録を進める。 ◆実績：①環境市民くらぶが大豆、菜種栽培でそのだ農園から指導を受けた。②JA大井川女性部が学校で大豆加工食品の指導を行った。③しまだ環境ひろばが菜の花、大豆の栽培・収穫・加工体験で指導を受けた。 	市民グループ
市民農園制度の拡充	継続	<p>④市民農園の整備及び開設の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市民が自ら栽培や収穫の農業体験を行うことにより、農業や地産地消への理解を深めてもらうとともに、農地の有効利用を図る。 ◆目標：市民農園の新規開設（民間主導または行政主体）を行う。 ◆実績：耕作放棄地の把握に努めた結果、御仮屋地区耕作放棄地約19aを市民農園開設候補地として選定し、NPO法人主体の市民農園開設事業として、側面的な支援を行った。野菜栽培講座を開催して、家庭菜園等の利用促進を行った。（開催日2月18・25日、受講者各100人） 	農林課

取組 4-4-2 伝統的な食材や味の伝承

取組項目		事業等の内容	担当
地域の伝統的な食材や味の掘り起こし	継続	<p>①地域の伝統食の聞き取り調査及び情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：地域の伝統食についての聞き取り調査を行い、情報を整理し発信する。 ◆目標：市内の朝市や農家をはじめ、広く市民に取材して、情報提供を行う。 ◆実績：①しまだ環境ひろばがずんだ餅作りを行った。②交流センターささまが「ささまふるさと料理」で、「ささま汁」「きのこごはん」「ハスイモの塩煮」「芋もち」の試作・試食会を開催した。また、S・Gアグリ浜松とふるさと料理交流体験会を開催した。 	市民グループ
伝統料理カレンダーの作成	継続	<p>②地域に伝わる伝統料理や行事食のカレンダーづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：地域に伝わる伝統料理や行事食にはその地域の文化だけでなく、その住民の健康に即した意味もあるので、カレンダーにして紹介する。 ◆目標：伝統料理カレンダーを作成し、啓発活動の際に配布する。 ◆実績：なし 	市民グループ

取組 4-4-3 食生活に関する学習の推進

取組項目		事業等の内容	担当
島田版食生活指針の作成	継続	<p>①島田版食生活指針の作成及び発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：食生活について市民に啓発を図るため、島田版食生活指針を発行する。 ◆目標：平成12年に国が作成した食生活指針を基に、分かりやすく現状に即した指針を作成し発行する。 ◆実績：①しまだ環境ひろばが市民環境塾で食生活の実態をパワーポイントで説明し、注意を喚起した。②水と里山を守る会が公民館生涯教育や活動グループにて、新たな食生活指導の講演会を行った。また、食生活指針（糖質制限療法等：脂質代謝学会）をわかりやすい表にまとめ、聴講者に対して配布・啓発を行った。 	市民グループ
食生活に関する情報紙の発行	継続	<p>②市民の食生活の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：食生活に関する情報紙を発行する。 ◆目標：情報紙の定期的な発行を目指す。 ◆実績：この項目は4-1-2に含まれる。 	市民グループ

健康づくり食生活推進活動の実施	後期	<p>③栄養改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：生活習慣病予防、健康づくりのための健全な食生活の普及啓発を図る。 ◆目標：島田市健康づくり食生活推進員の育成を行い、「親子の食育活動」・「生活習慣病予防」・「高齢者の食生活」について、地域での料理教室や普及事業の拡充を図っていく。 (一般市民への普及活動 平成24年目標値：10,000人) ◆実績：島田市食育推進計画に基づいて、健康づくり食生活推進員及びグループの活動の充実を図った。食育の推進、生活習慣病予防等の健康づくりに資する食生活改善の普及啓発活動を行った。 	健康づくり課
-----------------	----	---	--------

取組の基本的方向 4-5 環境負荷の少ない食生活の推進

取組 4-5-1 エコクッキングの推進

取組項目		事業等の内容	担当
エコクッキングチェックシートの活用	継続	<p>①エコクッキングチェックシートの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：エコクッキングのより良い取組を広げるためにチェックシートを作成、配布する。 ◆目標：エコクッキングチェックシートの活用を進める。 ◆実績：なし 	市民グループ
エコクッキング体験教室の実施	継続	<p>②省エネ、環境負荷軽減のための体験料理教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市民にエコクッキング体験希望者を募集して、体験教室の場を提供する。 ◆目標：エコクッキング体験教室の場を増やしていく。 ◆実績：しまだ環境ひろばがエコクッキング体験教室を開催した。 	市民グループ

5 環境教育・情報・連携

5-1 取組の状況及び評価

- ・この部門においては、平成23年度に合計で21の事業を実施しました。
- ・取組5-1-2「学校教育における環境教育の推進」に係る事業では、小中学校において計1,004トンの古紙を回収しました。
- ・取組5-1-3「生涯学習における環境学習の推進」に係る事業では、市民環境塾を12回開催し、延べ395人が受講しました。また、職員による出前講座を2回開催し、延べ79人が受講しました。
- ・取組5-3-1「市民・事業者・市の連携のしくみづくり」に係る事業では、環境基本計画の5つの部門ごとに、市民・市民グループ・事業者からなる市民部会を編成し、部会ごとに庁内部会との意見交換会を開催して調整を図りました。
- ・取組5-3-2「環境と共生した開発等の推進」に係る事業では、事業計画37件について土地利用対策委員会で審議し、事業者に対して調整池や雨水浸透施設、緑地の設置を指導しました。

◆環境の目標

項目	基準値	H23年度	目標値 (H24年度)	項目別評価（目標に対する進捗状況）	
				達成率	内容
環境の状況や、環境に関する市からの情報提供の満足度	17%	17.8%	50%	2.4%	環境に関する市民アンケート調査の集計結果による。
環境に関する講座・体験教室等の開催回数	—	14回	年24回以上実施	要改善	市民環境塾 12回 出前講座等 2回
環境に関する講座・体験教室等への参加者の割合 (講座等参加者数/人口)	—	2.1%	10%	要改善	市民環境塾 延べ395人 出前講座等 延べ79人 浄化センター見学者 229人 清掃センター見学者 1,464人
環境に関する市民団体の会員の割合 (市民団体会員数/人口)	—	8.7%	10%	要改善	環境市民団体 613人 河川愛護団体 5,570人 公園愛護会 2,743人
環境に関する市民・事業者・行政の3者が参加する会議開催数	—	8回/年	月1回以上	要改善	環境審議会 3回 環境基本計画意見交換会 5回

◆事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成23年度の事業等実施数
5-1 環境教育・環境学習の推進	5-1-1 幼児期における環境教育の推進	1
	5-1-2 学校教育における環境教育の推進	3
	5-1-3 生涯学習における環境学習の推進	2
	5-1-4 環境教育・環境学習の推進体制の確立	4
5-2 環境に関する情報の共有	5-2-1 情報の相互発信の推進	3
5-3 パートナーシップによる環境保全の取組の推進	5-3-1 市民・事業者・市の連携のしくみづくり	3
	5-3-2 環境と共生した開発等の推進	4
	5-3-3 計画の確実な推進	1
合計		21

3-2 事業等の内容

取組の基本的方向 5-1 環境教育・環境学習の推進

取組 5-1-1 幼児期における環境教育の推進

取組項目		取組名称	担当
幼児教育担当者の研修の充実	継続	①幼保小合同研修会 ◆目的：幼児期からの環境教育を行う必要性から、それぞれの担当者が連携して、環境にやさしいしつけやマナーの習得、指導法の情報交換を行う。 ◆目標：年間2回程度開催する。 ◆実績：年間2回の研修会を実施した。	学校教育課

取組 5-1-2 学校教育における環境教育の推進

取組項目		取組名称	担当
学校教育担当者の研修の充実	継続	①環境教育研修会の充実 ◆目的：学校教育における環境教育を推進するため、環境教育研修会を開催し、学校教育担当者の知識の習得や情報交換を行う。 ◆目標：環境教育研修会を年間1回程度開催する。 ◆実績：環境教育研修会を1回開催し、各学校で環境教育を実践・指導した。	学校教育課
教育資材の充実	継続	②環境教育資材の充実 ◆目的：学校教育において環境教育に係る事業を実施するうえで教材として使用する資材の整備を進める。 ◆目標：学校教育で環境教育に係る事業を実施するために必要な教材・資料等の充実と共有を図る。 ◆実績：環境教育に係る資料や器材の貸し出しなど、外部からの情報を各学校に伝え、活用を促した。	学校教育課
リサイクルの推進	後期	③古紙等の資源化回収事業 ◆目的：資源を大切にす態度を身に付けさせるため、資源のリサイクルを推進する。 ◆目標：古紙回収量 1,300 t を目指す。(19年度実績 1,162 t) ◆実績：古紙回収量は1,004 tであった。	学校教育課

取組 5-1-3 生涯学習における環境教育の推進

取組項目		取組名称	担当
環境学習の場の充実	継続	①環境学習講座の開催 ◆目的：生涯学習における環境学習の場を充実する。 ◆目標：広く一般市民を対象に環境学習講座を開催する。 ◆実績：市民の環境学習の場として、「市民環境塾」をしまだ環境ひろばに委託して実施した。また、自治会等を対象に職員による出前講座を実施した。	環境課
	継続	②環境学習講座の開催（入門講座） ◆目的：環境関連の基本的知識の習得や体験学習を通じて、市民の環境意識を高める。 ◆目標：市民を対象に環境学習講座（市民環境塾を含む）を開催する。平成24年までに環境学習講座受講生（修了生）を全市民数の1%（約1,000人）を目指す。 ◆実績：しまだ環境ひろばが市民環境塾を開催した。（12講座、395人）	市民グループ

取組 5-1-4 環境教育・環境学習の推進体制の確立

取組項目		取組名称	担当
環境教育リーダー育成のしくみづくり	継続	①環境リーダー育成事業 ◆目的：市民・事業者の中から自主的かつ積極的に活動していく環境教育リーダーを育成する。 ◆目標：県の環境学習指導員総合学習講座等の受講促進や、市民環境塾でのリーダー育成講座を企画する。 ◆実績：県が実施する環境学習指導員総合学習講座についてホームページに募集記事を掲載した。また、市民団体に情報提供し、受講促進を図った。	環境課
		②市民環境塾（リーダー育成編）の開催 ◆目的：環境教育を推進する人材を育成するために、基本的知識の習得や体験学習を行い、指導者としての能力を養成する。幅広い視野をもつ実践的な指導者を育成する。 ◆目標：①平成21年度中に市と検討会を開き、リーダー育成編の在り方を決める。 ②平成24年度までに環境リーダー育成編の教育修了者を50人養成する。 ◆実績：しまだ環境ひろばが環境課に提案書を提出し、リーダー育成編について意見交換を行った。	市民グループ
環境人材バンクによる人材派遣	継続	③環境人材バンク事業 ◆目的：小中学校や町内会等における環境学習講座へ講師を派遣する。 ◆目標：人材バンクへの登録者数を増やし、制度の拡充を図る。 ◆実績：1名の新規登録があったが、講座への派遣は実施されなかった。	環境課
		④環境人材バンクの登録促進とバンク人材の活用 ◆目的：幼児教育・学校教育・生涯学習・地域学習などあらゆる場において、環境教育・環境学習を行う際に必要な人材の登録制度と人材派遣を推進する。 ◆目標：①環境リーダー育成編修了者や地域の人材を発掘し登録を促す。 ②平成24年度までに登録者数30人、派遣件数30回を目指す。 ◆実績：しまだ環境ひろばが環境課と環境人材バンクについて意見交換を行った。	市民グループ

取組の基本的方向 5-2 環境に関する情報の共有

取組 5-2-1 情報の相互発信の推進

取組項目		取組名称	担当
環境に関する情報発信の拠点の整備	継続	①環境に関する情報発信の拠点の整備 ◆目的：環境に関する各種活動等の情報を市民が中心となって収集・発信する。 ◆目標：市民団体による環境に関する情報発信の拠点の整備を検討する。 ◆実績：新たな体制づくりはできなかった。	環境課
		②環境に関する情報発信の拠点の設置 ◆目的：市内の環境資源や環境保全のための取組、環境に関する講座・イベント情報、公害・有害化学物質に関する情報等の収集・整理・提供活動により、だれもが簡単に知りたい情報の入手を可能にする。 ◆目標：①平成21年度に市と協議して場所を確保する。 ②平成22年度に運用を開始する。 ◆実績：なし	市民グループ
市内外の環境に関する講座・イベント情報の整備発信	継続	③市内外の環境に関する講座・イベント情報の発信 ◆目的：環境に関する様々な情報を広く市民に発信し、周知を図る。 ◆目標：インターネットや広報紙等の利用により、市民グループや行政の情報を可能な限り発信する。 ◆実績：広報紙・ホームページへの掲載、ポスターの掲示、パンフレットの掲出により情報提供を行った。	環境課

		<p>④環境に関する講座・イベント情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市内外の市民・事業者・行政が発信する環境に関する講座やイベント情報を収集し、それらの情報を市民の誰もが容易に入手できるように発信する。 ◆目標：平成22年度より環境に関する情報発信の拠点及びインターネットにより環境に関する講座・イベント情報を発信し、全市民が情報をキャッチできるようにする。 ◆実績：①しまだ環境ひろばがeコミしまだ・広報しまだ、歩歩路掲示板等でイベント情報を発信した。②環境フェアネットワーク島田が情報を発信する場として環境フェアを開催した。③環境市民クラブが環境フェアとその他のイベント情報を歩歩路掲示板で発信した。④水と里山を守る会が食の安全の講演会のイベント情報を公民館で発信した。 	市民グループ
公害・有害化学物質に関する情報の提供	継続	<p>⑤島田市環境報告書作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：島田市環境報告書を作成し、市内における環境測定の結果や環境に関する情報、また市の環境施策等についての報告を行う。 ◆目標：環境の状況や市の環境施策について速やかに公表する。 ◆実績：環境施策の実施状況として、市民団体（1団体）・事業者（2社）の取組を掲載した。 	環境課

取組の基本的方向 5-3 パートナースHIPによる環境保全の取組の推進

取組 5-3-1 市民・事業者・市の連携のしくみづくり

取組項目		取組名称	担当
環境を軸とした連携のしくみづくり	継続	<p>①環境基本計画に基づく取組事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：市民・事業者の取組事業への積極的な参画を促進し、市との協働により望ましい環境像の実現のための事業を推進していく。 ◆目標：市民（市民団体）・事業者・行政が相互に協力・連携して、活動できるしくみづくりを進める。 ◆実績：環境基本計画に基づく5つの部会ごとに意見交換会を開催し、市民団体・事業者と情報交換及び環境に関する取組について調整を図った。 	環境課
		<p>②市民・事業者・市の連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：望ましい環境像実現に向けて欠かすことのできない3者の連携のあり方について検討し、そのしくみづくりを行う。 ◆目標：連携が必要な取組のテーマを決め、3者が連携して推進していく。 ◆実績：①環境フェアネットワーク島田が市民・事業者・市と連携して、環境フェアを開催した。②生ごみ資源化地域協議会が市民・事業者・市と連携して、生ごみの資源化に取り組んだ。 	市民グループ
	継続	<p>③大井川の清流を守る研究協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：大井川流域の環境保全と流況改善に必要な事業を行う。 ◆目標：流域自治体の連携により、大井川の水質や河川環境の改善に向け流域全体で実情を学び、情報を共有して活動に取り組む。 ◆実績：大井川を学ぶための視察会、講演会及び出前講座を実施した。 	環境課

取組 5-3-2 環境と共生した開発等の推進

取組項目		取組名称	担当
開発時の環境への配慮の推進	継続	<p>①土地利用対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：土地利用事業の施行に関し必要な基準を定め、適正な土地利用を指導する。 ◆目標：災害防止、良好な自然及び生活環境の確保を推進する。 ◆実績：土地利用事業計画37件について、土地利用対策委員会で審議し、事業者調整池や雨水浸透施設、緑地の設置を指導した。また、指導要綱の見直しにより、基準の明確化を図った。 	都市計画課

		<p>②島田市田代の郷整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：伊太田代地区周辺に生息するクマタカ等の保全に努めながら、当該地域の自然環境を復元、再生するため、市民の意見を最大限に取り入れた土地利用計画に基づき、田代の郷整備事業を推進する。 ◆目標：伊太田代地区周辺に生息するクマタカ等の繁殖に適した環境の保全に努め、当該地域の自然環境に配慮しながら、温泉施設等の整備を推進していく。 ◆実績：尾川上伊太線の道路整備工事（盛土工、擁壁工）及び陸上トラック整備（造成工、伐採工）について、作業期間の短縮化、騒音や排出ガスなど環境に配慮しながらの作業を実施した。また、従前に引き続き、猛禽類の生息状況や繁殖状況を把握する猛禽類調査を6回、平成12年秋に移植した植物の確認等を行う移植植物追跡調査を1回実施し、自然環境の復元、再生のための定期的な調査を行った。 	企画課
		<p>③田代の郷整備計画のフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：「環境プラザ」を中心とした地域の土地利用について、周辺の自然環境と共生する新しい形の地域活性化を目標に、市民・事業者・市が連携して地域づくりを検討する。 ◆目標：進捗状況に合わせて意見交換ができる場を設ける。 ◆実績：なし 	市民グループ
		<p>④環境保全のための話し合いの場の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：自然保護・生物多様性の保全と適正な開発の調整・情報公開を図るためのしくみをつくる。 ◆目標：平成21年度からしくみづくりのための話し合いを始める。 ◆実績：しまだ環境ひろばが環境課と情報交換し、農林課・市街地整備課等と意見交換を行った。 	市民グループ
		<p>⑤「地域のマップ」づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：主として市街地を対象に、その地域の特色ある樹木や建造物などを把握したマップを作成し、環境とバランスのとれた適切な土地利用を提案する。 ◆目標：既存の各種資料を分析した上で、住民の意見を盛り込み、平成24年度の作成を目指す。 ◆実績：なし 	市民グループ
		<p>⑥自然環境マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：自然環境マップの作成・配布により、市内の自然環境についての市民意識の高揚を図る。 ◆目標：児童・生徒をはじめ、広く市民に市内の自然環境に関するガイドブックとして使用してもらう。 ◆実績：市民や市内の小学校に対して既存の自然環境マップを配布した。 	環境課
		<p>⑦自然環境マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：学術的に重要な自然環境や市民が愛着をもつ環境資源を行政と協働により調査し、市民への啓発を行う。 ◆目標：平成24年度までに行政と協働により毎年度テーマを変えて自然環境マップを作成する。 ◆実績：なし 	市民グループ

取組 5-3-3 計画の確実な推進

取組項目		取組名称	担当
計画の進行管理の実施	継続	<p>①島田市環境基本計画進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的：平成14年度に策定された島田市環境基本計画を確実に実行する。 ◆目標：平成24年度までの10年間における計画内容の目標を達成する。 ◆実績：市民団体の活動状況を調査し、それに基づいて市民・事業者・市による意見交換会を開催した。また、次期環境基本計画の策定資料とするため、環境基礎調査及び市民意識調査を行った。 	環境課

6 事業等の取組団体（市民グループ）一覧

五十音順

	団 体 名	事務所所在地又は代表者住所	環境に関する主な活動
1	アピタ島田店	島田市宝来町	不用になった衣料品の引き取り
2	(株)伊東工業	島田市向谷一丁目	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
3	大井川の清流を守る研究協議会	川根本町	大井川を学ぶ視察会、出前講座の開催
4	大井川流域ネットワーク	島田市中央町	川まつりの開催
5	大津自治会	島田市落合 大津農村改善センター山王内	親水公園の整備、ごみ拾い、堤防の草刈り、ホダ木・ヒノキの杭の販売
6	大津谷川を愛する会	島田市本通七丁目	大津谷川のごみ拾い
7	御林守河村家を守る会	島田市大代	文化財建造物とその周辺里山の保全
8	ガールスカウト静岡県第17団	島田市旭三丁目	島田駅周辺でのごみ拾い、古着の回収
9	家庭倫理の会静岡中部	島田市道悦二丁目	国道1号バイパスIC・島田駅周辺等での環境美化活動
10	金谷コミュニティ委員会環境部会	島田市金谷栄町	県道島田金谷線のごみ拾い
11	金谷ライフクリエイターサークル	島田市金谷坂町	生ごみ利用による堆肥づくり、掛川旧日坂街道のごみ拾い
12	川根お茶街道推進協議会	川根本町	お茶を使った料理試食会の開催
13	川根町婦人会	島田市川根町家山	生ごみ資源化・ダンボールコンポストの普及
14	川根消費生活桜美会	島田市川根町家山	ペットボトルキャップ・アルミ缶の回収
15	NPO法人 環境市民くらぶ	島田市元島田	各種環境保全活動（ごみ、エネルギー関係）、まちづくりの推進、社会教育の推進
16	環境フェアネットワーク島田	島田市元島田	環境フェアの開催
17	公園愛護会	市内44団体	清掃、除草等による自主的な公園管理
18	NPO法人 里山仕事・しょんた塾	島田市金谷清水	金谷地区石畳坂や諏訪原城跡等の里山整備
19	里山どんぐりの会	島田市旭二丁目	間伐等里山整備
20	山村都市交流センターささま (企業組合くれば)	島田市川根町笹間上	ホテル鑑賞会・自然体験教室の開催、伝統料理調理体験の実施
21	静岡県トラック協会中部支部	島田市中溝町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
22	しずてつジャストライン(株)	島田駅前観光案内所内	エコ家族割引の実施、低公害車の導入
23	NPO法人 しまだ環境ひろば	島田市中溝町	環境基本計画に即した各種の環境保全活動
24	島田市消費者グループ	島田市稲荷一丁目	マイバッグ・マイ箸の推進、フリーマーケットの開催、節電の普及啓発
25	島田市職員互助会	島田市中央町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
26	しまだ次世代育成支援ネットワーク	島田市船木	子どもの衣類、おもちゃ等を集め必要な人にプレゼントする不用品の有効利用
27	島田市花の会	島田市旭三丁目	花壇の整備、苗づくり、花苗の提供

	団 体 名	事務所所在地又は代表者住所	環境に関する主な活動
28	島田商工会議所	島田市日之出町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
29	島田青年会議所	島田市大津通	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
30	NPO法人 しろやまゆいの会	島田市湯日	竹細工・炭焼き体験の開催、竹林整備
31	生活協同組合コープしずおか	静岡市葵区	エコドライブの実施、節電の普及啓発
32	生活クラブ生協静岡志太支部	島田市中河町	3Rの推進、環境にやさしい石鹼利用の啓発
33	そのだ農園	島田市東光寺	農薬・化学肥料を使わないエコ農作物の栽培、 菜種栽培、情報紙の発行
34	地球温暖化防止のための生ごみ 資源化地域協議会	島田市柳町	生ごみ資源化の調査研究、生ごみ堆肥化の実践 講座の開催
35	初倉コミカレねっとわーく	島田市湯日	公民館等での花壇づくり
36	初倉コミュニティ	島田市阪本	ホタル鑑賞会・炭焼き体験の開催、吹木川の浄 化
37	NPO法人 フリースペース・うえる びー	島田市柳町	フリーマーケットの開催
38	番屋金谷	島田市金谷河原	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
39	ぼうけんクラブ	島田市旭二丁目	野外活動を中心とした小学生の健全育成
40	ボカシネットワークしまだ	島田市大井町 ワークセンターコスモス内	ボカシ堆肥づくり及び普及啓発、園芸教室の 開催、リサイクルの推進
41	NPO まちづくり川根の会	島田市川根町家山	島田川根線周辺の美化活動、家山川の河川美化 活動、生ごみ利用による堆肥づくり
42	水と里山を守る会	島田市野田	河川・公園の実態調査、水ホタル鑑賞会の開催、 菜種等の栽培、食生活指導
43	森づくりS川根 NPO	島田市川根町笹間上	ホタル鑑賞会の開催、笹間地区の森林整備、 間伐材の利用
44	山桜ともみじの会	島田市川根町家山	山桜の植樹・草刈り
45	やまめ平	島田市笹間下	環境にやさしい石鹼利用の啓発
46	やまゆり	島田市伊久美	地元産材による安全・安心な食品の加工販売、 そば打ち等の体験教室の開催
47	六合コミュニティ委員会	島田市道悦五丁目 六合公民館内	ホタル鑑賞会の開催
48	C. E. E. S	島田市大草	竹の利用、竹病気の調査、生ごみ利用による堆肥 づくり
49	CRCセントラルリパークラブ	島田市中河町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
50	JA大井川女性部島田ブロック	島田市内	地産地消の推進、クッキングフェスタの開催、 遊休農地の活用、調理実習、食育指導
51	JA大井川まんさいかん島田	島田市御仮屋町	地元農産物の販売促進、情報紙の発行
52	JR東海	島田駅	電車利用キャンペーンの実施
53	Team Love H2O & Forest	島田市川根町家山	野守の池の浄化活動